

2025年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	スポーツサイエンスキャンプを通して
----	-------------------

<p>私はこのプログラムを通して、スポーツ科学についての理解がとても深まりました。</p>
<p>進路選択の際にイメージをすることしかできなかったこのスポーツ科学について明確</p>
<p>に知ることができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。共に2泊3日を</p>
<p>過ごした仲間とはこれからも交流をしていきたいと思えるほど仲を深めることができ</p>
<p>とても嬉しいです。</p>
<p>このプログラムでは、スポーツと科学との関わりについて、様々な体験や講義を通し</p>
<p>て学ぶことができました。私は特に、「スポーツ活動の3次元分析」という講義が印象に</p>
<p>残っています。自分の動きを科学的根拠に基づいた視点で見ることができてとても面</p>
<p>白かったです。</p>
<p>この2泊3日は、めったにできない体験をすることができてとても充実していました。</p>
<p>このような機会をくださった鹿屋体育大学の皆様本当にありがとうございました。これ</p>
<p>からの進路選択に存分に役立てていきたいと思えます。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	充実した3日間
----	---------

<p>私は今回のスポーツサイエンスキャンプに参加し、とても自分のためになる知識をたくさん得られたと思います。体育大学へのイメージも変わり、大学でどのようなことを学びたいかも具体的に考えることができました。</p>
<p>参加を通し、一番興味を持った分野はバイオメカニズムです。「いつ力が加わっているのか」、「どのようにしたらもっとよりよい結果を出すことができるのか」についてグループのみんなとディスカッションを行い、より知識を深めることができました。</p>
<p>最先端の技術やスポーツ科学のことについて学べたこと以外にも、参加した人たちとすぐに仲を深めることができ、今回の参加はよい経験となりました。受験勉強に取り組むにあたりとても良い刺激となっています。</p>
<p>とても充実した3日間となりました。今回のスポーツサイエンスキャンプに関わって下さった先生方、大学院生の方、国立研究開発法人化学技術振興機構さん、そして今回一緒に参加した15人の方、本当にありがとうございました。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	充実した3日間
----	---------

<p>まず、私はこの2泊3日のスポーツサイエンスキャンプがとても楽しく、充実した3日間となりました。</p>
<p>私はスポーツ活動と心理の講義に興味がありましたが、実際に講義を受けてみると自分が思っていた「メンタル」の事ではなく、紙と鉛筆を使い変わった方法で自分が意識的型なのか非意識的型なのかを知ることができました。</p>
<p>筋活動の講義では、筋電図を使って筋肉が使われているタイミングや大きさを図ることができ、実験自体はきつかったけどとてもおもしろかったです。</p>
<p>最終日のバイオメカニクスの講義では、垂直跳びの結果から「どうすれば高く跳べるのか」をグループの人たちと様々な視点からディスカッションできました。</p>
<p>どの講義も普段自分が考えていないスポーツの奥深い部分まで知ることができ、今回のキャンプの目標であった、スポーツの視野を広げることができました。</p>
<p>また、初めての一人旅や他の人たちと交流できるのかすごく不安でしたが、すぐに仲良くなることができ、人としても成長できたきっかけになりました。</p>
<p>今回の経験を通して、もっとスポーツに対する視野を広げ、これからの競技生活に活かしていきたいと思いました。そして、鹿屋体育大学でもっと勉強したいと強く感じました。</p>
<p>一緒に学んでくれたみんなの事を思い出してあと1年、合格に向けて勉強と競技に取り組みたいと思います。3日間関わってくれた先生方、大学生院生や大学生の方々、本当にありがとうございました。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	がんばるキッカケ
----	----------

<p>私は今回のキャンプでたくさんのことを学べた。例えば、一日目にあった講義では、いままで簡単な言葉で済ましていたことや、あたりまえだと思い深く自分の中では考えなかったことなどを学べた。ほかにも、スポーツ心理学は自分の想像しているものとは全くちがっていたり、体育大学の雰囲気なども知れた。自分の中の世界が広がった、素晴らしいキャンプだった。</p>
<p>そんな充実した三日間の中でも、特に実験の講義は印象深かった。スポーツ心理学や脳・神経、三次元分析などでは実際に実験器具に触れ、実際に実験し、実験からどういことが知れるのか分かった。実験をしている時はずっとわくわくしていた。ほかの使い方を想像してみたり、自分のためだけにこの器具を使うことを想像したらとても楽しかった。自分の知りたいことを知れる場所、調べたいことを自分の身を使って知れる場所だと私は思った。</p>
<p>私は、この三日間は一生の宝物になると思う。志望校が見つかったり、他県の高校生の部活や勉強に対する熱量に触れることができ、今後の高校生活に対する大きなモチベーションをくれた。</p>
<p>このキャンプにもし参加していなかった時のことを考えるだけで恐ろしい。そう思わせるほど素晴らしい三日間だった。私はもっと強くなれる。夏休みの前の自分とは、比較できないほど強くなってやる。勉強も部活も今までの何倍も頑張る。「モチベーションがない」など甘えたことは絶対に言わない。頑張ること自体を当たり前にしたいと私は思った。三日間一緒にがんばった他の参加者の皆さん。鹿児島に行くにあたっていろいろ準備してくれた両親。三日間お世話になった鹿屋体育大学さん。本当にありがとうございました。言葉では言い表せないほど感謝しています。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	(なし)
----	------

<p>今回のプログラムでは、講義や実験、施設見学を通してスポーツ科学について幅広く学ぶことができました。講義では骨格筋や筋繊維の特徴、スポーツと心理の関わりなどを知り、今まで意識していなかった分野にも大きな興味を持つようになりました。特に、筋電図を使って自分の筋肉の活動を目で確認できたことや、モーションキャプチャによる動作分析を体験できたことはとても新鮮で印象的でした。また、高酸素や低酸素の環境を人工的に再現する設備を見学し、最先端の研究が実際に競技力向上に活かされていることを実感しました。</p>
<p>内容は専門的で難しい部分も多くありましたが、体験を通して理解を深められたこと、そして仲間と意見を交換しながら学べたことが大きな刺激となりました。今回の経験を通じて、スポーツ科学の奥深さを実感するとともに、自分の競技やこれからの学びに積極的に活かしていきたいと強く思いました。短い間でしたがありがとうございました！</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	鹿屋体育大学に入学したいと思った3日間
----	---------------------

<p>私は今回スポーツサイエンスキャンプに参加して、鹿屋体育大学にある最先端のスポーツ科学について学んだり、体験したりすることができました。</p>
<p>実験で一番印象に残っているのは、好きな筋肉に装置をつけて筋電図を測ったのが一番印象に残っています。筋電図を測って自分の体を上手く使う難しさを改めて感じました。他にもバイオメカニクスの実験で、50メートル走を測って自分がどれだけの力を地面に伝えているのかわかったり、力の伝わっている向きもわかったりして、とても印象に残りました。講義ではスポーツ心理学がとても印象に残っていて、自分がトレーニングをして体を鍛えることしか意味がないだろう、イメージトレーニングなんてあまり効果はないのではないかと考えていましたが、脳があたえる影響はすごいんだということがとても印象に残っています。</p>
<p>また、トレーニングをする上で大切な事として結果ばかり見るのではなく、自分に足りないものを考えてトレーニングをすることが大切だと学びました。これを聞いて、私は勉強も同じで結果ばかり見ていたらモチベーションが下がるのでやる気が出ず結果も出にくくなるんだと思いました。なのでこれからの受験勉強では、自分ができないところはどこか何が苦手なのかを考えて勉強に励みたいです。</p>
<p>また、私は野球部でピッチャーをしていて、コントロールは自信がありましたが、まさか自分がここまで繊細な動きをしてコントロールをしていたとは思わず、少し嬉しくなりました。このスポーツサイエンスキャンプを通して、全国の仲間と出会い一緒に学びを深めることで受験へのモチベーションがとても向上しました。このような楽しいことが多い鹿屋体育大学に入学したいという思いが高まった3日間でした。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	2025 年度スポーツサイエンスキャンプに参加して
----	---------------------------

<p>2025 年度スポーツサイエンスキャンプに参加して、体育大学へのイメージが変わりました。体育大学はスポーツをして、筋肉や体の作りについて学んでおり、貴校はそれに加え最先端の科学技術や設備が揃っている、それぐらいのイメージでした。</p>
<p>しかし、実際参加してみると想像とは違い、私が 1 番印象に残ったのは、スポーツ心理学です。スポーツ心理学はメンタル面だけでなく、運動制御面からのスポーツ心理学があり、制御のメカニズムを知ることトレーニング方法が分かったり、解の冗長性により違う動きから同じ結果を得られることが分かったりと、私の知りたいが沢山詰まった講義でした。貴校に進学できたらこのようなことを学べると思うとより一層進学希望が強くなりました。</p>
<p>今回学んだことは自分の専門競技に活かし、技術の向上に励みたいと思います。沢山の人の関わり素晴らしい経験ができ、とても充実した 3 日間でした。ありがとうございました。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	(なし)
----	------

<p>私はスポーツサイエンスキャンプに参加し、多くの学びを得ることができました。全国各地から集まった高校生と3日間を共に過ごし、とても充実した時間を過ごしました。</p>
<p>特に印象に残っているのは、スポーツ活動と心理に関する講義や実験です。実際に受けてみると、自分が想像していた心理学とはまったく異なり、新しい発見ばかりでした。「心理でこんなことまで学べるのか」と驚き、とても興味を持つことができました。どの講義や実習でも鹿屋体育大学の施設を活用させていただき、大学の魅力を深く知ることができました。</p>
<p>また、グループの垣根を越えて全国の高校生と交流できたことも大きな思い出です。一緒に講義を受けたり、食事をしたりする中で自然と仲良くなり、3日間はあっという間に過ぎていきました。今でも連絡を取り合っており、互いに刺激を受けられる仲間と出会えたことをとても嬉しく思います。さらに、教授や在学生の方とも直接お話をでき、大学で学ぶ雰囲気を実感する貴重な機会となりました。</p>
<p>このキャンプに参加して、本当に良かったと心から感じています。学びはもちろん、多くの仲間や思い出に出会うことができ、忘れられない夏になりました。ありがとうございました。</p>

2025年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	スポーツサイエンスキャンプを通して
----	-------------------

<p>私は、スポーツサイエンスキャンプに参加して、体育大学に対するイメージが大きく変わりました。実際に施設を見学し、講義を受ける中で、身体について科学的に学ぶことを知り、普段とは違う視点からスポーツをとらえる面白さを実感しました。</p>
<p>特に印象に残ったのは、スポーツ心理学の講義です。これまで私は「メンタルを鍛える」というイメージしか持っていませんでしたが、スポーツにおいて重要な運動制御能力など、メンタル以外の側面も専門的に学べると知り、新しい発見となりました。</p>
<p>また、最終日の三次元動作解析では、モーションキャプチャーを使った実習を体験しました。さらにフォースプレートの上で50m走るという普段できないことにも挑戦でき、とても貴重な経験になりました。</p>
<p>この3日間は私にとって忘れられない有意義な時間となり、「鹿屋体育大学に入学したい」という気持ちがさらに強くなりました。</p>
<p>キャンプを支えてくださった先生方や大学院生・大学生の皆さん、一緒に学んだ仲間たち、本当にありがとうございました。</p>

2025 年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	大満足
----	-----

僕はこのスポーツサイエンスキャンプに大満足です。以前から僕はスポーツに関わる仕事をしたいと志していましたが、それは漠然としていました。しかし、このキャンプを通して自分の興味や夢がより明確になりました。

興味を強く引かれたのは、最終日のバイオメカニクスの講義と、生理的・心理的限界に関する学びでした。僕は、自身の動きを確認するときには、自分の感覚と動画と言う主観と外側のみでした。ですが、このバイオメカニクスは僕が求めていたものそのものでした。垂直跳びの計測では、これまで感覚で行っていたものが科学的に証明されていたことに驚きました。また計測結果に反発エネルギーや骨盤の角度や沈み込みなどいろいろな数値をすぐにフィードバックでき、科学的根拠に基づいた効率の良い動きができることを学ぶことができました。

次に興味を持ったのが、生理的限界と心理的限界です。講義で頭では理解していた概念でしたが、実際に自分の最大筋力の 25%の重りを持ち続ける実験を通して、その限界を体感しました。腕の震えや重さに耐えながら、必死に心理的限界に抗った結果、筋電図の振れ幅が上限に達するまで耐え抜くことができました。このように、日々の練習で心理的限界に立ち向かうことで、自身の成長をより深く実感できるようになると思いました。

このキャンプを通して、大学でスポーツ科学を探究し、将来は科学的な視点からアスリートをサポートする仕事に就きたいという目標が固まりました。最後になりますが、唯一の一年生として参加し、とても緊張していました。しかし、温かい先輩方と手厚くサポートしてくださった先生方のおかげで、最高の三日間を過ごすことができました。このご縁は一生の宝物です。

2025年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学

体験感想文

題名	スポーツサイエンスキャンプを通して
----	-------------------

<p>今回のスポーツサイエンスキャンプで最新の測定機器を使い、自分の身体の動きを科学的に分析する貴重な体験をしました。地面反力計を使ってスプリント動作を測定し、スタートや加速の際にどの方向へどれだけ力を出しているかを数値で確認したり、筋電図を用いてフォームをチェックし、どの筋肉がどのタイミングで働いているのかを知ることができました。</p>
<p>この経験から、感覚だけではわからない課題を科学的に見つけることができることを実感しました。今後は測定で得たデータをもとにフォームを改善し、競技力向上につなげていきたいです。</p>
<p>また、競技は違ってもスポーツに対する熱い思いを持った仲間に出会えたことは私にとってとても大きな経験となり、私自身のモチベーションも高まりました。3日間ありがとうございました。</p>